

安芸高田市施策評価シート（平成25年度施策）

評価対象 施策名	生涯学習施設の整備	施策コード	作成者	所属	企画振興部 政策企画課
		11006		役職・氏名	課長 山平 修
				電話	0826-42-5612

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	Ⅱ心豊かで創造性に富んだまちづくり
	主要施策	3.生涯学習社会の形成

① 住民意識調査結果	生涯学習施設に対する住民の多様なニーズ(生涯学習団体、コミュニティ組織、向原こぼと園及び小学校保護者会等)を踏まえて向原公民館の用地の選定、施設の整備及び運営を検討する必要がある。	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果
③ 施策の現状と課題	向原の生涯学習活動の拠点である公民館(図書館)や若者センターは、幅広く利用されているものの、施設の老朽化は言うまでもなく、バリアフリー化及び機能等、近年の市民ニーズに適応したものと云い難い状況である。 平成22年度において公民館の建替え及び若者センターの大規模改修の必要性、方向性を整理した。	
④ 施策の意図、今後の展望	若者センターに図書機能を併設し大改修し、これに隣接した400人収容規模のホールを新設し、一体の施設として整備する。 住民の多様な地域活動や多世代の交流・ふれあいを通じて、住民一人ひとりの人間性豊かな生活を創造し、向原町の元気で魅力ある地域づくりを先導する施設をめざす。 整備テーマとして「多世代が学び、交流し、地域の元気を発信する地域拠点」掲げる。	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
本体工事の竣工	工事の進捗率	

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H23	H24	H25	H26	H28		
工事の進捗率	目標		83	100			当該年度事業費/ 総事業費	
	実績		37.3	100	-	-		
	達成率	%		44.9%	100.0%	-		-
	目標				-	-		
	実績				-	-		
	達成率	%			-	-		
	目標				-	-		
	実績				-	-		
	達成率	%			-	-		

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H24決算	H25決算	H26予算	人員数(H25) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 施設建設事業	543	生涯学習センター 整備事業	2.1.7.1.13	734,508	741,951		0.65	高い	H25完了	
				734,508	741,951		5,320			
合計				734,508	741,951	0	0.65			
				734,508	741,951	0	5,320			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	平成25年9月末竣工
② 平成26年度以降の課題 (事務事業構成、役割分担)	
③ 総合評価 (今後の展開、事務事業の見直し等)	

政策への貢献度	高い	企画振興部長	(氏名)	竹本 峰昭
---------	----	--------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成25年度施策）

評価対象 施策名	社会教育施設の活用	施策コード	作成者	所属	教育委員会事務局 生涯学習課
		45001		役職・氏名	課長 松野 博志
				電話	0826-42-0054

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	Ⅱ心豊かで創造性に富んだまちづくり
	主要施策	3.生涯学習社会の形成

① 住民意識調査結果	社会教育施設の運営の充実と適正管理が求められている。	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果
③ 施策の現状と課題	①老朽化した施設の再編整理や実態に応じた民間委託の導入など、適正で効率的な施設管理と運営の充実が求められている。 ②社会教育拠点施設の充実が求められている。	
④ 施策の意図、今後の展望	①各文化センター等の機能を確保するため、計画的な施設改修や設備の更新を図る。 ②少年自然の家は、効率的で安定した施設運営を行う。 ③公民館や地区集会所は再編整理により適切な管理形態に移行する。	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
少年自然の家の効率的で安定した施設運営	少年自然の家の延べ利用者数	★
社会教育施設(文化センター、公民館、集会所等)の適切な管理形態	公民館や集会所などの地元譲渡・廃止数	★

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H23	H24	H25	H26	H28		
少年自然の家の延べ利用者数	目標	15,000	15,000	15,000	15,000			
	実績	14,229	15,344	14,408	—	—		
	達成率	94.9%	102.3%	96.1%	—	—		
公民館や集会所などの地元譲渡・廃止数	目標	10	10	1	4			
	実績	2	9	1	—	—		
	達成率	20.0%	90.0%	100.0%	—	—		
	目標							
	実績				—	—		
	達成率				—	—		
	目標							
	実績				—	—		
	達成率				—	—		

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H24決算	H25決算	H26予算	人員数(H25) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 施設維持管理	148	関係施設維持管理事業	1.10.5.1.1.10	72,460	73,127	61,056	3.75	高い	前年度並み配分	
				67,402	66,959	54,042	30,808			
既存 施設維持管理	149	安芸高田少年自然の家維持管理事業	1.10.5.6.1.1	31,961	28,160	28,830	0.10	普通	前年度並み配分	
				22,961	21,810	19,830	822			
合計				104,421	101,287	89,886	3.85			
				90,363	88,769	73,872	31,630			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明
政策企画課	向原生涯学習センター建設事業	向原若者センター、向原公民館の老朽化に伴い、代替施設として、文化ホール、図書館を複合する生涯学習センターを建設整備

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	公民館、向原地区集会所の廃止は完了した。自然の家の利用者数については、企業研修の増減によって左右している。本来の目的とする青少年の利用については、例年どおりに推移。
② 平成26年度以降の課題(事務事業構成、役割分担)	社会教育施設の適正配置を一層推進するとともに、維持管理経費の削減が必要。
③ 総合評価(今後の展開、事務事業の見直し等)	向原生涯学習センターの整備に伴い、向原公民館を廃止した。この結果、公民館は全廃となり、代わって文化センターが公民館の役目をなす。施設適正配置においては、4地区集会所の廃止(地元移管を含む)を進めることが急務。また、文化センターについては、1町1館に整理する必要がある。

政策への貢献度	高い	教育次長	(氏名)	沖野 和明
---------	----	------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成25年度施策）

評価対象 施策名	生涯学習体制の確立	施策コード	作成者	所属	教育委員会事務局 生涯学習課
		45002		役職・氏名	課長 松野 博志
				電話	0826-42-0054

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	Ⅱ心豊かで創造性に富んだまちづくり
	主要施策	3.生涯学習社会の形成

① 住民意識調査結果	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果
③ 施策の現状と課題	①市民の生涯学習に対する意欲が高まっている。 ②いつでも、どこでも学ぶことができる生涯学習の場を提供することが求められている。 ③ニーズの多様化に応じた多様な生涯学習の場が求められている。 ④こうしたニーズに対応する施設、人材が求められている。
④ 施策の意図、今後の展望	①市民一人ひとりが、生きがいを持って地域社会に参画する生涯学習のまちづくりを進める。 ②気軽に参画できる多様な場を提供するとともに団体等の育成を図る。 ③参加者主体の参加体験型学習プログラムの普及を図る。 ④社会教育指導者・ボランティアを育成するとともに社会教育担当職員の資質の向上を図る。

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
社会教育団体における自主的な生涯学習	人権教育研修・講座実施回数目標達成率	★
社会教育担当職員の資質向上	社会教育担当職員研修受講率	★

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H23	H24	H25	H26	H28		
人権教育研修・講座回数	目標	11	10	10	10	10		
	実績	8	9	5	—	—		
	達成率	%	72.7%	90.0%	50.0%	—	—	
社会教育担当職員研修受講率	目標	100	100	100	100	100		研修受講人数／対象職員数
	実績	100	100	100	—	—		
	達成率	%	100.0%	100.0%	100.0%	—	—	
	目標							
	実績				—	—		
	達成率	%			—	—		
	目標							
	実績				—	—		
	達成率	%			—	—		

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H24決算	H25決算	H26予算	人員数(H25) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	133	社会教育総務事業	1.10.5.1.1.2	19,448	23,407	18,409	0.37	普通	前年度並み配分	
				19,441	18,600	18,402	3,040			
既存 ソフト事業	537	人権教育事業	1.10.5.5.1.3	532	55	1,029	0.28	普通	前年度並み配分	平成26年度から人権教育・家庭教育支援事業に変更
				502	55	1,029	2,300			
合計				19,980	23,462	19,438	0.65			
				19,943	18,655	19,431	5,340			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明
子育て支援課	放課後児童クラブ	子どもの居場所づくり推進事業との連携

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	人権教育事業については、講座開催数が約半減している。社会教育関係職員の人材育成についても、計画的に研修等受講参加することができている。
② 平成26年度以降の課題（事務事業構成、役割分担）	人権教育事業については、家庭教育支援事業と一体的に、参加体験型学習を推進していく必要がある。社会教育関係職員の人材育成については、今後も計画的に研修を進める必要がある。
③ 総合評価（今後の展開、事務事業の見直し等）	人権教育事業については、ファシリテーターの養成を図り、参加体験型学習を推進、定着をさせる必要がある。社会教育関係職員の人材育成については、配置職員数が減少する中、社会教育指導員を中心に、研修効果を他職員へ還元するシステムを確立し短期的に育成を図っていく必要がある。

政策への貢献度	普通	教育次長	(氏名)	沖野 和明
---------	----	------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成25年度施策）

評価対象 施策名	学習内容の充実	施策コード	作成者	所属	教育委員会事務局 生涯学習課
		45003		役職・氏名	課長 松野 博志
				電話	0826-42-0054

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	Ⅱ心豊かで創造性に富んだまちづくり
	主要施策	3.生涯学習社会の形成

① 住民意識調査結果	市民の生涯学習に対する意欲は高まっている。価値観の多様化や新たな現代的課題への対応など、様々なニーズに対応する学習の場やプログラムの提供が求められている。	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果
③ 施策の現状と課題	①市民の学習意欲は高まっている。 ②様々なニーズに対応したプログラムの開発や魅力ある学習の場の提供が求められている。 ③社会生活を営む上で重要な現代的課題に対応するための学習機会が求められている。 ④社会全体で子どもを育てる環境が求められている。	
④ 施策の意図、今後の展望	①生涯を通じて学び個性を伸長する、主体的で創造性豊かな人材を育成する。 ②地域の自然や歴史を尊重しながらも、新しい価値や文化に対する創造力と発信力の育成を図る。 ③生涯学習活動を通じて地域の活性化と地域福祉の向上に寄与する。	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
現代的課題(青少年の学外国際理解教育)	中学生の海外派遣人数	★
社会全体で子どもを育てる環境の整備	家庭教育開催講座数	★
魅力ある学習の場	市民セミナー開催講座数	★
魅力ある学習の場	高齢者大学開催講座数	★

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H23	H24	H25	H26	H28		
中学生の海外派遣人数	目標	24	24	28	28	28		
	実績	21	26	32	-	-		
	達成率	%	87.5%	108.3%	114.3%	-	-	
家庭教育開催講座数	目標	30	30	30	30	30		
	実績	33	23	20	-	-		
	達成率	%	110.0%	76.7%	66.7%	-	-	
市民セミナー開催講座数	目標	20	23	23	23	23		
	実績	18	23	19	-	-		
	達成率	%	90.0%	100.0%	82.6%	-	-	
高齢者大学開催講座数	目標	50	50	50	50	50		
	実績	47	52	52	-	-		
	達成率	%	94.0%	104.0%	104.0%	-	-	

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H24決算	H25決算	H26予算	人員数(H25) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	137	学外国際理解教育推進事業	10.5.81.1	3,629	5,534	6,924	0.56	普通	前年度並み配分	
				3,629	5,512	6,744	4,601			
既存 ソフト事業	138	成人教育事業	10.5.2.1.1	5,313	4,827	3,885	1.46	普通	前年度並み配分	
				4,253	3,887	3,266	11,995			
既存 ソフト事業	144	家庭教育支援事業	10.5.4.1.1	650	490	1,029	0.43	普通	前年度並み配分	平成26年度から人権教育・家庭教育支援事業に変更
				650	490	1,029	3,533			
既存 ソフト事業	146	青少年活動事業	10.5.3.1.1	6,251	6,319	5,256	1.01	普通	前年度並み配分	
				4,415	4,557	3,518	8,298			
合計				15,843	17,170	17,094	3.46			
				12,947	14,446	14,557	28,427			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明
子育て支援課	放課後児童クラブ	子どもの居場所づくり推進事業との連携

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	成人教育、青少年教育、家庭教育支援、国際理解教育の各事業とも、事業自体は安定的に実施回数を重ねてきている。青少年海外派遣事業の参加数が伸びてきており事業の全中学校への浸透がみられる。
② 平成26年度以降の課題(事務事業構成、役割分担)	成人教育事業では、現代的課題、地域課題への取り組みを推進する必要がある。青少年教育においても、実体験が不足する小中学生への学習機会の提供の推進を図る必要がある。青少年海外派遣事業において、参加希望が増加傾向の中、参加負担金等の見直しを図る必要がある。
③ 総合評価(今後の展開、事務事業の見直し等)	国際理解教育については、青少年海外派遣事業が全中学校に定着してきた。限られた予算内で、一人でも多くの参加ができる様事業内容の改善が必要。成人・青少年の各講座については、その効果を検証できるシステムを確立する必要がある。家庭教育支援については、人権教育事業と一体的に参加体験型学習を定着させる必要がある。

政策への貢献度	普通	教育次長	(氏名)	沖野 和明
---------	----	------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成25年度施策）

評価対象 施策名	特色ある教育の推進	施策コード	作成者	所属	教育委員会事務局 学校教育推進室
		45006		役職・氏名	室長 児玉 晃
				電話	0826-42-5628

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	Ⅱ心豊かで創造性に富んだまちづくり
	主要施策	3.生涯学習社会の形成

① 住民意識調査結果	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果	
③ 施策の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校に学習補助員等の非常勤講師を配置し、きめ細やかな教育体制を整備している。その結果、基本的な学力は概ね定着してきたが、小学校においては国語の読み取る力、中学校においては、理科の科学的な思考力・判断力に課題がある。 ・体力運動能力調査によると、県平均を上回る項目の割合がの小学校8割、中学校7割を超えている。身体の柔軟性、走りに課題があり、体育の授業や日常の体力づくりにおいて、活動の工夫が必要である。 	
④ 施策の意図、今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・指導体制の整備及び指導内容・指導方法の工夫改善による確かな学力・体力の向上 ・安芸高田市の独自性を生かした体験活動の実施、特色ある教育活動の実施による郷土愛の醸成 ・特別支援教育の充実 ・適正就学の実施 	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
児童生徒の学力向上	学力調査結果	★
児童生徒の体力向上	体力・運動能力調査結果	

施策指標名	単位	評価値の推移					他団体等の状況	指標の説明
		H23	H24	H25	H26	H28		
基礎学力が定着している児童の割合	目標	85%	国90%算94%	国90%算94%	国90%算94%	未定	H25県 県基礎基本定着状況調査通過率60%以上の児童の割合	
	実績	国94.9%算95.3%	国84.3%算85.5%	国73.4%算73.3%	—	—		
	達成率	100.0%	0.0%	0.0%	—	—		
基礎学力が定着している生徒の割合	目標	80%	国88%数80%英80%	国88%数80%英80%	国88%数80%英80%	未定	H25県 国79.3% 数73.6% 英76.1%	
	実績	国87.2%数84.9%英87.3%	国86.5%数85.5%英92.5%	国78.9%数76.7%英77.2%	—	—		
	達成率	100.0%	100.0%	0.0%	—	—		
児童生徒の体力・運動能力の状況	目標	小85%中70%	小91%中70%	小91%中70%	小91%中70%	未定	体力運動能力調査の県平均を上回る項目数/小96 中54	
	実績	小81.3%中72.2%	小85.4%中74.1%	小80.2%中72.2%	—	—		
	達成率	50.0%	50.0%	50.0%	—	—		
	目標							
	実績							
	達成率							

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H24決算	H25決算	H26予算	人員数(H25) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	155	学力向上推進事業	1.10.1.3.1.1	23,111	34,014	21,857	0.55	高い	前年度並み配分	
				23,111	6,114	2,857	13,027			
既存 ソフト事業	156	みつや協育推進事業	1.10.1.3.1.6	9,400	9,460	13,352	0.40	高い	前年度並み配分	
				9,400	8,369	12,094	5,211			
既存 ソフト事業	162	体力向上事業	1.10.1.3.1.4	1,846	1,545	1,943	0.10	普通	前年度並み配分	
				1,846	1,545	1,943	1,303			
既存 ソフト事業	163	特別支援教育推進事業	1.10.1.3.1.3	19,190	28,092	36,503	0.40	高い	前年度並み配分	
				19,190	28,092	36,503	8,467			
既存 ソフト事業	164	適正就学管理事業	-	0	0	0	0.18	普通		
				0	0	0	4,038			
合計				53,547	73,111	73,655	1.63			
				53,547	44,120	53,397	32,046			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	①基礎学力(小学校)→2教科とも県の割合を上回ることができたが、目標を達成することができなかった(達成率0%)。②基礎学力(中学校)→全教科県の割合を上回ったが、目標を達成したのは1教科のみであった(達成率33.3%)。③体力運動能力→小学校が目標を達成できなかった(達成率50%)
② 平成26年度以降の課題(事務事業構成、役割分担)	学力の向上という政策の実現のため、教員の授業力の向上や指導方法等の改善のほか、生徒指導・人権教育・道徳教育・特別支援教育など、総合的に学校経営の充実を目指す。
③ 総合評価(今後の展開、事務事業の見直し等)	①学習補助員、教育介助員を適切に配置し、きめ細やかな教育を行うとともに、落ち着いた学級経営をめざす。②いじめ防止基本方針の運用により、生徒指導上の諸問題に組織的に対処する体制を構築する。③特別な支援を要する幼児児童生徒の適切な就学を図る。④保護者との良好な関係づくりを重視し、家庭教育の充実を推進する。

政策への貢献度	高い	教育次長	(氏名)	沖野 和明
---------	----	------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成25年度施策）

評価対象 施策名	社会の変化に対応した教育の推進	施策コード	作成者	所属	教育委員会事務局 学校教育推進室
		45007		役職・氏名	室長 児玉 晃
				電話	0826-42-5628

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	Ⅱ心豊かで創造性に富んだまちづくり
	主要施策	3.生涯学習社会の形成

① 住民意識調査結果	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果	
③ 施策の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 国際化する社会に対応するため、小中学校等にALTを派遣し、異文化理解の場を設定し、豊かな国際感覚を醸成する。 派遣されるALTの指導力向上に向けて業者指導が必要。 さらに、ALTを有効活用できる担当教員の授業力の向上が大きな課題である。 	
④ 施策の意図、今後の展望	<p>英語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、小学校においては、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養い、中学校においては、聞くこと、話すこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。</p> <p>文部科学省によるスーパーグローバルハイスクール(仮称)の指定や小学校における英語の教科化の動きなど、国際化の進展に伴い教育のグローバル化が今後も進むと思われることから、今後も重点施策として取り組む。</p>	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
国際理解感覚の醸成	英語学力の向上 ALTとの関係 英語学習への意欲の向上	★

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H23	H24	H25	H26	H28		
英語学力の定着状況	目標	75%					H25県全体72.1 聞く77.0 実技83.4	中2「基礎・基本」定着状況調査、英語平均・聞くこと・実技の点数
	実績							
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%				
英語活動への意欲	目標	75%	75%	75%	75%	未定		小学5・6年生の英語活動に対する肯定度
	実績	85.80%	82.30%	83.1				
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%				
英語授業への意欲	目標	60%	60%	60%	60%	未定	H25県62.2	中2「基礎・基本」定着状況調査、英語への意識「英語がすき」
	実績	70.50%	69.80%	66.1				
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%				
ALTとの関係	目標	60%	60%	60%	60%	未定	H24県57.9	中2「基礎・基本」定着状況調査、「ALTとの会話がすき」→調査項目がなくなった。
	実績	59.50%	64.50%					
	達成率	99.2%	100.0%					

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H24決算	H25決算	H26予算	人員数(H25) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	166	国際理解教育推進事業	1.10.1.3.2.1	17,220	17,220	17,712	0.10	高い	前年度並み配分	
				17,220	17,220	17,712	1,303			
合計				17,220	17,220	17,712	0.10			
				17,220	17,220	17,712	1,303			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	全項目で目標を達成した。ただし、小学校では年々意欲が向上しているのに対し、中学校では意欲が低下傾向にあり、「授業がよくわかる」という項目もここ2年低下している。(H23:83.7 H24:80.7 H25:70)
② 平成26年度以降の課題(事務事業構成、役割分担)	小学校における外国語の教科化の議論もふまえ、小学校教員が外国語の授業力を身につける必要がある。ALTを生かし、教員が主体的に外国語の授業づくりができるよう体制を整えていく。
③ 総合評価(今後の展開、事務事業の見直し等)	ALTと小学校担任との打ち合わせ時間を15分間確保する。このことにより、教員とALTの共同による授業を推進する。また、月1回程度は小学校教員主体の外国語授業を実施することを目指す。

政策への貢献度	高い	教育次長	(氏名)	沖野 和明
---------	----	------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成25年度施策）

評価対象 施策名	心の教育の充実	施策コード	作成者	所属	教育委員会事務局 学校教育推進室
		45008		役職・氏名	室長 児玉 晃
				電話	0826-42-5628

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	Ⅱ心豊かで創造性に富んだまちづくり
	主要施策	3.生涯学習社会の形成

① 住民意識調査結果		② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果
③ 施策の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・安芸高田市道徳推進協議会を組織し、道徳授業研究を中心に行いながら道徳教育の充実を図ってきた。 ・児童生徒の発達段階に応じ、学校教育活動全体を通して、計画的に人権教育を推進してきている。 ・適応指導教室の運営及びスクールカウンセラー、家庭教育支援員等の配置による心の教育相談体制の充実を図った。 ・学校の生徒指導体制の確立及び教職員の生徒指導の力量向上を図るため、生徒指導主事研修会を定例で開催した。 ・H18年度の51名をピークに不登校児童生徒数は減少傾向にあるものの、「暴力行為」「いじめ」「不登校」の3項目について、中学校の「暴力行為」以外は県平均を上回っている。 	
④ 施策の意図、今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の推進 ・人権教育の推進 ・適応指導教室の運営等不登校対策の充実 ・スクールカウンセラー、家庭教育支援員等の配置による心の教育相談体制の充実 ・生徒指導対策事業の推進 	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
児童生徒の問題行動数の減少	生徒指導上の諸問題に関する調査結果	
不登校児童生徒数の減少	生徒指導上の諸問題に関する調査結果	★

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H23	H24	H25	H26	H28		
生徒指導上の諸問題(暴力)の発生数	目標	小1.6中14.9	小1.6中14.9	小1.6中14.9	小1.6中14.9	未定	H24県小1.8中13.6	1,000人あたり、暴力行為児童生徒発生数
	実績	小3.39中5.21	小4.8中9.5	小10.9中11.6	—	—		
	達成率	50.0%	50.0%	50.0%	—	—		
生徒指導上の諸問題(いじめ)の発生数	目標	小1.3中3.3	小1.3中3.3	小1.3中3.3	小1.3中3.3	未定	H24県小4.0中8.3	1,000人あたり、いじめ児童生徒発生数
	実績	小4.75中3.91	小6.2中6.8	小9.6中7.3	—	—		
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	—	—		
不登校児童生徒発生数	目標	小0.39中2.98	小0.39中2.98	小0.3%未満中3%未満	小0.3%未満中3%未満	未定	H24県小0.40中2.52	全児童生徒数に対する不登校児童生徒の割合
	実績	小0.61中2.47	小0.75中2.04	小0.55中2.03	—	—		
	達成率	50.0%	50.0%	50.0%	—	—		
	目標							
	実績							
	達成率							

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H24決算	H25決算	H26予算	人員数(H25) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	172	生徒指導推進事業	1.10.1.3.3.3	6,780	6,431	6,614	0.55	高い	前年度並み配分	
				6,780	6,431	2,028	1,303			
既存 ソフト事業	566	豊かな心育成事業	-	0	0	0	0.25	普通		
				0	0	0	5,862			
合計				6,780	6,431	6,614	0.80			
				6,780	6,431	2,028	7,165			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	①達成項目→(中)暴力行為、(中)不登校 ②未達成項目→(小)暴力行為、(小・中)いじめ、(小)不登校
②平成26年度以降の課題(事務事業構成、役割分担)	いじめ防止基本方針の策定を契機として、学校・市教委・関係機関等の連携により、組織的に生徒指導上の諸問題に対処する体制の構築をめざす。
③総合評価(今後の展開、事務事業の見直し等)	①学校→「学校いじめ防止基本方針」の策定、「いじめ防止委員会」の設置、重大事態に対処する「いじめ調査委員会」の運用 ②市教委→「市いじめ防止基本方針」の策定、学校への指導・助言、重大事態において必要に応じ学校に専門家等を派遣、「いじめ問題対策連絡協議会」の設置、「いじめ問題対策委員会」の設置 ③市長 → 調査結果の報告を受け、再調査の判断を行う。「調査委員会」の設置

政策への貢献度	高い	教育次長	(氏名)	沖野 和明
---------	----	------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成25年度施策）

評価対象 施策名	開かれた学校づくりの推進	施策コード	作成者	所属	教育委員会事務局 学校教育推進室
		45009		役職・氏名	室長 児玉 晃
				電話	0826-42-5628

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	Ⅱ心豊かで創造性に富んだまちづくり
	主要施策	3.生涯学習社会の形成

① 住民意識調査結果	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果
③ 施策の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、学校、地域が相互に連携して子育てを進めるため、学校は保護者や地域住民の意向を把握し、学校経営の改善に生かすことが必要である。また、学校経営の状況等の学校情報を発信し、学校としての説明責任を果たすことも必要であり、その仕組みとしての学校評議員制度、学校関係者評価制度を導入し、開かれた学校づくりを進める。 ・上記の両制度を関係者が趣旨を十分に理解し効果的に活用できるよう研修を深めていく必要がある。
④ 施策の意図、今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員制度の充実 ・学校関係者評価の実施

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
地域・保護者の学校教育に対する信頼	学校自己評価における保護者の学校への信頼度	★

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H23	H24	H25	H26	H28		
保護者の学校教育への信頼度	目標	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	未定		保護者アンケート「学校教育に満足しているか」80%以上の学校の割合
	実績	88.90%	93.80%	91.12%	—	—		
	達成率	%	111.1%	117.3%	113.9%	—		
	目標							
	実績				—	—		
	達成率	%			—	—		
	目標							
	実績				—	—		
	達成率	%			—	—		

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H24決算	H25決算	H26予算	人員数(H25) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	567	開かれた学校づくり事業	1.10.1.3.4.1	1,216	1,142	1,374	0.10	高い	前年度並み配分	
				1,216	1,142	1,374	1,954			
合計				1,216	1,142	1,374	0.10			
				1,216	1,142	1,374	1,954			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	各学校が実施した保護者アンケートにより、91.12%が学校教育に満足していると回答し、目標を達成した。
② 平成26年度以降の課題（事務事業構成、役割分担）	学校評議員、学校関係者評価委員の制度が形骸化せず、効果的に機能するために研修の実施が必要。
③ 総合評価（今後の展開、事務事業の見直し等）	アンケート結果では保護者の満足度は高いが、外部の意見を取り入れて学校の経営改善をさらに図っていくために、学校評議員等の制度の理解と役割を理解するための研修の実施を検討する。

政策への貢献度	高い	教育次長	(氏名)	沖野 和明
---------	----	------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成25年度施策）

評価対象 施策名	学校教育体制の充実	施策コード	作成者	所属	教育委員会事務局 学校教育推進室
		45010		役職・氏名	室長 児玉 晃
				電話	0826-42-5628

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	Ⅱ心豊かで創造性に富んだまちづくり
	主要施策	3.生涯学習社会の形成

① 住民意識調査結果	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果
③ 施策の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の専門性の向上、職能成長を図る人材育成は最も重要な課題である。服務監督権者として、管理職、主任等研修の実施、校内研修講師謝金、教職員研修会参加負担金の予算確保により、研修機会を保障している。 ・市内教職員への服務規律の厳正確保への指導を徹底した結果、懲戒処分となる事案は発生していない。
④ 施策の意図、今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・校長を中心とした学校経営態勢の確立 ・教職員指導力の向上 ・組織として機能する学校づくりの推進 ・教職員の服務規律の厳正確保 ・県費負担教職員の適正な人事管理

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
地域・保護者の学校教育に対する信頼	学校教育に満足しているか	★

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H23	H24	H25	H26	H28		
地域・保護者の学校教育への理解、信頼	目標	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	未定	保護者アンケート「学校教育に満足しているか」80%以上の学校の割合	
	実績	88.90%	93.80%	91.12%	—	—		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	—	—		
	目標							
	実績				—	—		
	達成率	%			—	—		
	目標							
	実績				—	—		
	達成率	%			—	—		
	目標							
	実績				—	—		
	達成率	%			—	—		

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H24決算	H25決算	H26予算	人員数(H25) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	177	人材育成事業	1.10.1.3.5.1	2,794	2,200	2,495	0.60	高い	前年度並み配分	
				2,794	2,200	2,495	10,421			
既存 ソフト事業	178	県費負担教職員 管理事業	-	0	0	0	0.77	高い		
				0	0	0	12,245			
合計				2,794	2,200	2,495	1.37			
				2,794	2,200	2,495	22,666			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	各学校が実施した保護者アンケートにより、91.12%が学校教育に満足していると回答し、目標を達成した。
② 平成26年度以降の課題 (事務事業構成、役割分担)	特に小学校において、学力調査の結果がやや芳しくなかった。また、生徒指導上の諸問題の発生率が上昇傾向にある。教職員の服務規律の確保については、懲戒免職等の重大事案は生起していないものの、体罰・パワハラ等の不祥事を未然に防ぐために、今後も管理職研修等を通じて指導を行っていく。
③ 総合評価 (今後の展開、事務事業の見直し等)	①教職員の指導力の向上→学力向上 ②生徒指導の充実→落ち着いた学校・学級経営 ③教職員の服務規律の確保→学校に対する信用・信頼の向上 を柱に学校教育体制の充実を図っていく。

政策への貢献度	高い	教育次長	(氏名)	沖野 和明
---------	----	------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成25年度施策）

評価対象 施策名	小・中学校管理運営	施策コード	作成者	所属	教育委員会事務局 教育総務課
		45011		役職・氏名	課長 佐々木 亮
				電話	0826-42-0049

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	Ⅱ心豊かで創造性に富んだまちづくり
	主要施策	3.生涯学習社会の形成

① 住民意識調査結果	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果
③ 施策の現状と課題	安芸高田教育振興基本計画に基づき、安芸高田らしい特色のある教育の実現に向け取り組む。 (現状)①校長を中心とした効率的な学校経営に対し、事務の効率化に取り組む。②学校協同事務室により各町別で小中学校の事務執行の均一化を図っている。 (課題)①各町別の共同事務室に於いて、事務用パソコン及び印刷機の台数が不足なので、事務処理時間に待ち時間が生じている。
④ 施策の意図、今後の展望	各学校の限られた予算を効率的に執行し、学校での事務を簡素化しているが、今後、学校規模適正化事業の推進により統廃合が進むと共同事務室の範囲も見直しが必要となるが一校当りの事務量は増加すると考えられる。

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
教育予算額の推移	教育予算額の状況(経常経費、投資的経費)	
学校共同事務室の開催回数	共同事務作業による能率アップ	

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H23	H24	H25	H26	H28		
一般会計における教育予算額の推移	目標	10	10	10	10		※学校耐震化予算額を含む	
	実績	7.4	6.4	6.9	—	—		
	達成率	0.7%	0.6%	0.7%	—	—		
学校共同事務の開催回数(一週間当り)	目標	1	1	1	1		(吉田・八千代) (美土里・高宮)(甲田・向原)の3地区	
	実績	1	1	1	—	—		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	—	—		
	目標							
	実績				—	—		
	達成率				—	—		
	目標							
	実績				—	—		
	達成率				—	—		

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H24決算	H25決算	H26予算	人員数(H25) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	179	小・中学校管理運営事業	10.2.(3).1	132,791	133,525		0.50	高い	前年度並み配分	
				132,791	133,525		4,070			
合計				132,791	133,525	0	0.50			
				132,791	133,525	0	4,070			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	限りある予算の中でより良い教育効果を実現するため、効率の良い予算執行に努める。
② 平成26年度以降の課題(事務事業構成、役割分担)	小中学校のパソコン教室の次世代機種選考を進める。また、教職員のセキュリティ意識の向上と、それに伴う条件の抽出が必要(例として、USBメモリーの追加配布、各校1台配布している移動用パソコンの学校規模に合わせた追加など)。
③ 総合評価(今後の展開、事務事業の見直し等)	次世代パソコンの選定と教職員の事務軽減が行える展開を推進する。

政策への貢献度	普通	教育次長	(氏名)	沖野 和明
---------	----	------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成25年度施策）

評価対象 施策名	教育環境の整備	施策コード	作成者	所属	教育委員会事務局 教育総務課
		45013		役職・氏名	課長 佐々木 亮
				電話	0826-42-0049

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	Ⅱ心豊かで創造性に富んだまちづくり
	主要施策	3.生涯学習社会の形成

① 住民意識調査結果		② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果
③ 施策の現状と課題	①[現状]学校耐震化推進事業により平成24年度安芸高田市市内教育施設の耐震化率は86.5とした。[課題]県内で耐震工事の多さのため、実施設計審査において時間を要している。 ②各学校施設の修繕及び改修工事については、現況調査を行い、各学校数年で対応するよう計画をした。 ③[現況]給食センターの運営においては、「安心・安全」を第1として運営を行う。また、私立「ひの川幼稚園」に平成25年5月10日より週2回の給食を提供している。[課題]主に蒸気配管関係のパイプなど修繕が必要となってきている。現在アレルギー対応として代替え食を提供しているが、代替え食の増加、アレルギー食材の多様化により代替え食対応が難しくなる。	
④ 施策の意図、今後の展望	①学校耐震化推進事業により、教育環境の充実を図る。学校規模適正化推進事業の推進を考慮し、統合校への改修計画も図る。 ②国際化、情報化など社会の変化に対応できるようICT教育に関わる環境整備の充実を図る。	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
学校耐震化率	耐震化率	★
給食の実施状況	地産地消率	★

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H23	H24	H25	H26	H28		
学校施設の耐震化率	目標	70	90	95.5	100		耐震化完了棟数64棟/市内小中学校全棟数67棟	
	実績	71.6	86.5	95.5	—	—		
	達成率	102.3%	96.1%	100.0%	—	—		
地産地消率	目標	35.2	38	39	40		(安芸高田市産品目数+広島県産品目数)÷総使用品目数	
	実績	36.1	38.2	38.8	—	—		
	達成率	102.6%	100.5%	99.5%	—	—		
	目標							
	実績				—	—		
	達成率				—	—		
	目標							
	実績				—	—		
	達成率				—	—		

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H24決算	H25決算	H26予算	人員数(H25) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 ソフト事業	152	私立幼稚園就園奨励費助成事業	10.1.2.	6,324 4,883	5,165 3,897		0.05 407	普通	前年度並み配分	
既存 ソフト事業	157	学校保健推進事業	10.1.2	9,405 9,405	9,021 9,021		0.85 6,919	普通	前年度並み配分	
既存 ソフト事業	160	安全管理事業	10.1.2	2,432 2,379	2,379 2,379		0.30 2,442	普通	前年度並み配分	
既存 ソフト事業	176	教職員住宅維持管理事業	10.1.2	3,020 2,840	3,020 2,840		0.25 2,035	普通	前年度並み配分	
既存 ソフト事業	181	学校施設整備推進事業	10.1.1	1,183 1,183	1,127 1,127		0.85 6,918	高い	前年度並み配分	
既存 施設建設事業	182	小学校施設・設備等管理・整備事業	10.2.1	36,098 36,098	38,224 38,224		0.70 5,698	普通	前年度並み配分	
既存 施設建設事業	183	中学校施設・設備等管理・整備事業	10.2.1	19,195 19,195	20,190 20,190		0.65 5,291	普通	前年度並み配分	
既存 補助金・負担金	186	通学助成事業	10.2.1	6,800 6,800	19,194 19,194		0.20 1,628	高い	前年度並み配分	
既存 補助金・負担金	187	就学援助事業	10.1.2	28,745 28,152	27,213 26,549		0.20 1,628	高い	前年度並み配分	
既存 施設建設事業	536	学校耐震化推進事業	10.1.2	401,762 27,649	243,850 142,776		0.80 6,512	高い	前年度並み配分	
合計				514,964 138,584	369,383 266,197	0 0	4.85 39,478			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明
給食センター	地場産物の利用率の向上	給食献立作成のため、地場産物の生産計画とのすり合わせが必要。

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	・学校施設の耐震化率については、予定のない3校を除き本年度で全て完了した。 ・地産地消率については年々着実に増加しており、JA・市地域営農部局・給食センター三者の会議が機能しているといえる。
② 平成26年度以降の課題(事務事業構成、役割分担)	本施策の大きなウエートを占める「学校規模適正化推進事業」や「ICT教育推進事業」など、今後の教育環境整備に不可欠な事業を構成事務事業とする必要がある。
③ 総合評価(今後の展開、事務事業の見直し等)	上記②の課題に対応するには、また、学校規模適正化推進にかかわって統合校の整備や通学助成の市内統一を実現しようとすると、総じて教育予算の確保が必要となる。

政策への貢献度	高い	教育次長	(氏名)	沖野 和明
---------	----	------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成25年度施策） 【追加シート】

評価対象 施策名	教育環境の整備	施策コード	作成者	所属	教育委員会事務局 教育総務課
		45013		役職・氏名	課長 佐々木 亮
				電話	0826-42-0049

3. 施策構成事務事業の評価(その2)

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H24決算	H25決算	H26予算	人員数(H25)	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財	人件費			
既存 施設維持管理	549	給食事業	10.1.2.	179,033	183,048		2.20	高い	前年度並 み配分	
				177,345	183,048		17,907			
小計				179,033	183,048	0	2.20			
				177,345	183,048	0	17,907			
合計				693,997	552,431	0	7.05			
				315,929	449,245	0	57,385			